

## 新しい日常における地域の学びについて（公民館、図書館）

## 公民館

## 影響のあった主な事業

令和元年度（3月）  
 ・講座20事業（37回）、こだいらオール公民館まつり、土曜子ども広場等18事業の全部または一部を中止  
 令和2年度（7月末まで事業中止）  
 ・市報等掲載後、中止・延期等15講座（その他、シルバー大学、親子体操教室等は掲載前に延期を決定）  
 ・再開後に、中央公民館サークルフェアや全館の公民館まつりの中止を決定（一部分での開催を検討中）  
 ・公民館事業企画委員会の活動開始の遅れ（4月⇒6月）と回数の減  
 予約済みの部屋利用取消（臨時休館期間分 約7,350件）

## 再開にあたっての主な対策

・市の新型コロナウイルス感染症対策本部及び施設所管課と連携し、再開時期、利用制限等を検討  
 ・全国公民館連合会の「公民館における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」等を参考に対策  
 3密回避、部屋定員の半数での利用、利用時間の短縮（消毒のため）、備品の貸出制限、チェックリスト  
 ・他市の公民館とも情報交換するなどして、順次利用制限を緩和  
 6/2～印刷機の利用、6/9～学習室等の利用、7/1～調理・音楽・運動系の利用、9/1～保育室の利用

## 公民館利用状況（全館合計）

	部屋利用件数			利用人数		
	令和元年度	令和2年度	前年度比	令和元年度	令和2年度	前年度比
6月	3,310件	946件	28.6%	40,765人	7,656人	18.8%
7月	3,234件	1,881件	41.8%	40,375人	14,708人	36.4%
8月	2,769件	1,979件	71.5%	31,844人	15,692人	49.3%
9月	3,228件	2,365件	73.3%	43,056人	20,210人	46.9%
10月	3,227件	2,704件	83.8%	37,708人	24,814人	65.8%

※前年度比：令和元年度を100%としたときの割合。令和2年6月は、再開日（9日）からの数値。  
 回復の傾向はあるものの、利用者は高齢者が多いことから、当面は急激な回復は無いものと見込んでいる。

## 公民館のあり方

・学習施設としての機能とともに、市民との協働の拠点、地域のコミュニティづくりの拠点としての機能を併せ持つ施設

## 現在の取組

・新しい生活様式の励行と3密の回避及び周知（公民館だより、市ホームページ）  
 マスク着用・手洗いの励行、換気扇修繕、サーキュレータやパーテーションの利用、部屋の定員の半数での利用と使用後の消毒等  
 ・主催事業の実施にあたっての対応  
 参加者の体温測定（非接触型体温計）の実施、公民館保育での保育者の加配措置（通常の配置+1人）等  
 ・公民館事業企画委員会による公民館主催講座の企画検討

## 今後の課題

・来館者数回復への工夫  
 利用者の高齢化による来館回避の現状、密集の発生による感染防止の困難さ  
 ・ICTの利活用による事業実施における選択肢の拡大と可能性  
 ウェブ会議システムでの講座（主に座学）、講演会、会議等の実施に向けた検討と試行  
 公民館の役割、機能（コミュニティの拠点、居場所づくり）との親和性の確保  
 新たな利用者の開拓の可能性（身体的理由での来館困難者、若年層等の利用）

## なかまちテラス（ティーンズ委員会等）の取組事例

・なかまちテラスでは、コロナ禍においてもティーンズ委員会の活動に積極的に取り組んでいる。  
 ・感染対策のため異なる学校の生徒が一堂に会することは避け、リモートでミーティングを開催し、生徒が選んだティーンズ大賞の本の投票を市内各中学校や中央図書館でもできるようにして、活動を継続した。

## 公共施設マネジメント推進計画に基づく施設の更新・移設に対する社会教育施設（公民館、図書館）としての検討

・小川駅西口公共床における小川西町公民館、小川西町図書館の他施設との複合化に向けた具体的な検討と調整

## 図書館

## 影響のあった主な事業

・講演会、おはなし会等の中止  
 ・ブックスタート事業  
 4月以降は3～4か月児健康診査は再開されているが、感染対策のため、本を手渡すのみで読み聞かせは実施していない。  
 ・図書館ボランティアの活動の休止

## 再開にあたっての主な対策

・市の新型コロナウイルス感染症対策本部及び関係各課と連携し、再開時期、利用制限等を検討  
 ・日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等を参考に対策  
 接触感染のリスク対策：手洗い・手指消毒の呼びかけ、返却図書24時間放置  
 飛沫感染のリスク対策：換気の実施、ビニールカーテン等の設置  
 集客施設のリスク対策：予約資料のみの受取窓口開設（3/26, 6/3～6/8）、開館後の館内滞在時間の制限  
 ・他市の図書館とも情報交換するなどして、順次利用制限を緩和  
 6/9～館内利用（17時閉館）、6/17～分室再開、7/1～閉館時間通常化、10/13～館内滞在時間30分→60分

## 図書館貸出冊数・貸出人数の状況（全館合計）

	令和元年度			令和2年度		
	貸出冊数	貸出者数	貸出一人当たり冊数	貸出冊数	貸出者数	貸出一人当たり冊数
6月	117,949冊	43,517人	2.71冊	84,495冊	27,111人	3.12冊
7月	132,024冊	48,792人	2.71冊	107,455冊	38,703人	2.78冊
8月	135,226冊	49,760人	2.72冊	133,074冊	46,251人	2.88冊
9月	122,068冊	45,591人	2.68冊	119,259冊	41,815人	2.85冊
10月	119,341冊	44,915人	2.66冊	120,181冊	44,501人	2.70冊

※貸出冊数は8月までにほぼ回復をしてくれているが、貸出者数の回復は遅れていた。一人当たりの貸出冊数は増加

## 図書館のあり方

・地域の情報拠点として時代に即した図書館サービスを提供するため、中央図書館機能の充実と地区図書館及び分室の機能の見直し  
 ・本に囲まれた居心地の良い空間を提供

## 現在の取組

・新しい生活様式の励行と3密の回避及び周知（図書館ホームページ）  
 マスク着用、手指消毒・手洗いの励行、サーキュレータやパーテーションの利用、滞在時間や席数の制限  
 今後の課題  
 ・ICTの利活用による窓口業務の見直し  
 ICタグの導入で貸出・返却手続きの自動化、非対面化により感染リスクの低減と利用者プライバシー向上  
 セキュリティゲート（BDS）の設置により、盗難防止やフレキシブルな館内レイアウトの設定に寄与  
 窓口業務の自動化により、職員は資料案内や調査援助といった専門的な業務にシフト  
 ・居心地の良い空間としての図書館  
 在宅勤務者の増加により、自宅近くでWi-Fi等で情報にアクセスでき、居心地の良い空間へのニーズの高まり  
 子育て世代にも使いやすいキッズスペース、コーヒーを飲みながら本が読めるカフェスペース、仕事や勉強にも活用できるワークスペースの導入  
 ・電子書籍の導入  
 場所や時間を選ばずに利用者が資料にアクセスできる環境が整う  
 宅配サービス利用者など来館困難者へのサービス向上の可能性  
 書架スペースを縮小でき、他の用途に転用が可能に

閉館以降の影響

再開後の対策

再開後の利用の状況

あり方の施設

現在の取組状況と今後の課題（想定される取組）